

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	エンドピュア Advanced
供給者の会社名称	株式会社アマノ
担当部門	医療機器事業部
住所	静岡県磐田市豊田 825
電話番号	0538-36-7711
FAX番号	0538-36-0711
整理番号	
推奨用途及び使用上の制限	内視鏡の洗浄

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

<健康に対する有害性>

急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	区分 4 (H332)
皮膚腐食性／皮膚刺激性	区分 2 (H315)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2 (H319)
生殖毒性	区分 1 A (H360)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (H370)
	区分 3 (H335、H336)

上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H332—吸入すると有害

H315—皮膚刺激

H319—強い眼刺激

H360—生殖能または胎児への悪影響のおそれ

H370—中枢神経系、血液系、腎臓の障害

H335—呼吸器への刺激のおそれ

H336—眼気またはめまいのおそれ

注意書き

安全対策

使用前に使用方法や注記書きを確認すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手、眼をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

特別な処置が必要である。(この SDS の 4. 応急措置を参照)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

保管

換気の良い室温で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠できる場所に保管すること。

廃棄

内容物／容器を国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名（一般名）	濃度または濃度範囲 (%)	官報公示整理番号		CAS No.	構造式
		化審法	安衛法		
エチレングリコール	10~20%	2-230	-	107-21-1	C ₂ H ₆ O ₂
エタノール	0.1~1%未満	2-202	-	64-17-5	C ₂ H ₅ OH
サチライシン	0.1~1%未満	-	11-(2)-226	9014-01-1	-

不純物／安定化添加物

不純物：不明

安定化添加物：不明

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合

水で注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。吐かせないこと。医師の診察／手当てを受けること。

予想できる急性症状及び遅発性症状

吸入した場合：咳、めまい、頭痛。皮膚に付着した場合：皮膚の乾燥。

眼に入った場合：発赤、痛み。飲み込んだ場合：腹痛、感覚鈍麻、吐き気、意識喪失、嘔吐。症状は遅れて発現することがあり、過剰にばく露したときは医学的な経過観察が必要である。

応急処置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、水噴霧。

多量の水が有効である。

使ってはならない消火剤

データなし。

特有の危険有害性

燃焼ガスには有毒ガスが含まれるので、消火作業の際は煙の吸引を避ける。

特有の消火方法

消火作業は風上から行うこと。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

漏洩エリア内に立入るときは、保護具を着用する。飛沫等が皮膚に付着しないようする。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項

回収・中和

河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。

乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉できる空容器に回収する。

封じ込め及び浄化方法・機材

危険でなければ漏れを止める。漏洩エリア内で稼働させる設備・機器類は接地する。

二次災害の防止策

事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉塞場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。眼および皮膚への接触を避ける。

局所排気・全体換気

作業場の換気を十分に行う。

安全取扱注意事項

すべての安全注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。保護手袋／保護眼鏡または保護面を着用すること。取扱い後は手、眼をよく洗うこと。

接触回避

高温体との接触を避ける。

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。保護具は定期的に点検すること。

保管

安全な保管条件及び

直射日光を避ける。容器を密閉する。換気の良い室温で保管する。酸性物質と一緒に保管しない。施錠できる場所に保管する。

適切な技術的対策

注意事項

安全な容器包装材料

ポリエチレン、ステンレス等を推奨する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度

化学名（一般名）	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
		日本産業衛生学会 (2023年版)	ACGIH
エチレングリコール	設定されていない	設定されていない	TWA 25ppm (蒸気及びエアロゾル) STEL 50ppm (蒸気及びエアロゾル) STEL 10mg/m ³ (吸引性粒子、エアロゾルのみ) (2020年版)
エタノール	設定されていない	設定されていない	TLV-STEL 1000ppm (2013年版)
サチライシン	設定されていない	設定されていない	STEL (C) 0.00006mg/m ³ (2009年版)

設備対策

取扱い場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置する。

作業場には局所排気装置または全体換気装置を設置する。

保護具

保護手袋、保護眼鏡、保護マスクまたは保護面及び状況に応じて保護衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
色	淡黄色透明
臭い	特異臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7. 0～8. 0 (1. 0 %)
動粘性率	データなし
溶解度	水に対して溶解する
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度または相対密度	1. 050～1. 070
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱い条件下では安定。
化学的安定性	直射日光により、液色が変化するおそれがある。
危険有害反応可能性	データなし。
避けるべき条件	加熱。高温へのばく露。直射日光。
混触危険物質	酸性物質との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	データなし。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	計算式より ATE 値を求め区分に該当しないとした。 推定値 : LD ₅₀ =5,000mg/kg 以上 (不明成分を 6% 含む) データ不足のため分類できない。
急性毒性 (経皮)	区分に該当しない (GHS 定義による気体ではない)。
急性毒性 (吸入 : 気体)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入 : 蒸気)	GHS 分類の結果、区分 4 とした。
急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	GHS 分類の結果、区分 2 とした。
皮膚腐食性／皮膚刺激性	GHS 分類の結果、区分 2 とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	GHS 分類の結果、区分 1 A とした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	GHS 分類の結果、区分 1 を 10% 以上含むため区分 1 (中枢神経系、血液系、腎臓)、区分 3 を 20% 以上含むため区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

1.2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期（慢性）	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壤中の移動性	データなし。
オゾン層有害性	データ不足のため分類できない。

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	内容物を法定廃棄物処理業者に委託し廃棄すること。
汚染容器及び包装	内容物を完全に除去し法定廃棄物処理業者へ処理を委託する。

1.4. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国際規制	
海上規制情報	IMDG コード／IMO の規定に従う
航空規制情報	ICAO／IATA の規定に従う
国内規制	
陸上規制情報	消防法、毒劇法、道路法の規定に従う
海上規制情報	船舶安全法、港則法などの規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う

1.5. 適用法令

毒物及び劇物取締法	非該当	
労働安全衛生法		
法第57条、法第57条の2	通知・表示対象物質261 通知・表示対象物質205 通知対象物質611	エチレングリコール エタノール サチライシン
令別表第1	危険物 第4号 引火性の物	エタノール
規則第594条の2	皮膚等障害化学物質	エチレングリコール
化学物質排出把握管理促進法	非該当	
消防法	非該当	
水質汚濁防止法	非該当	
海洋汚染防止法	施行令 有害液体物質：Z類	

1.6. その他の情報

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者に提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。本データシートは安全性の保証をするものではありません。